

かしこい子
やさしい子
たくましい子



福智町議会の窓 議会だより

FUKUCHI TOWN COUNCIL NEWS

2021.3
VOL.52

主な
内容

議決結果	2・3
常任委員会報告	4～6
一般質問(8議員)	7～15
表紙紹介・編集後記	16

表紙 弁城小学校(場所:福智町弁城)

議決結果

令和2年

第4回福智町議会定例会

【会期12月4日～16日】

〔定例会審議内容〕

令和2年（2020年）第4回福智町議会定例会が12月4日（金）から12月16日（水）の会期で開催されました。定例会は、議長・

町長・各委員会などの報告に続いて、令和2年度一般会計（第8号）及び特別会計補正予算、新町建設計画の一部変更、物品購入に関する議会議決、町職員の給与に関する条例の一部改正などの条例改正、教育委員会委員の選任など、議案11件が審議され、すべて可決されました。

また、一般質問は8名の議員が、町の施策や考え方について問いただしました。

《一般会計補正予算》
令和2年度一般会計補正予算（第8号） 3億73

76万7千円を可決！

歳入は、〇ふるさと納税5億円と民生費国庫負担金などの補正。

歳出は、〇ふるさと納税返礼品とその手数料など2億9206万1千円〇障害者自立支援給付費4662万6千円〇学童保育・保育所等運営委託費4621万5千円〇診療所会計操出金1060万円〇各基金への積立金4億9916万7千円〇決算見込みの減額補正など、追加補正予算（第8号）3億7376万7千円を可決しました。今回の追加補正により、令和2年度一般会計歳入歳出総額は、それぞれ205億285万7千円となりました。

【審議結果】

出席議員18名
可決《賛成16 反対1》
議長は除く

《新町建設計画の一部変更についての議会議決》

新町建設計画を令和7年度までの5年間延長を可決！

3町合併時に、新町を建設していくため、平成18年度から令和2年度までの15年間の基本方針を定めた「新町建設計画」が、5年間延長され、令和7年度までとなるため「新町建設計画」の一部変更を可決しました。

変更理由・内容は次のとおりです。

【変更理由】

東日本大震災による被害を受けた合併市町村に係る地方債の特例に関する法律の一部改正により、被災地以外の合併市町村においても、震災の影響を受けるため、合併特例債（債権の7割が交付金として町に還元される国の支援制度）の利用が5年間延長されたものです。

【変更内容】

新町建設計画は合併か

議決結果

令和3年

第1回福智町議会臨時会

【会期2月2日の1日】

〔臨時会審議内容〕

令和3年（2021年）第1回福智町議会臨時会が2月2日（火）に開催されました。臨時会は、議長の開会宣言・町長あいさつに続き、専決処分された令和2年度一般会計補正予算（第9号）、令和2年度一般会計補正予算（第10号）を審議しました。その結果、議案2件は可決・承認されました。

《専決処分の承認》

ふるさと納税8億円追加など補正予算（第9号）の専決処分を承認！

歳入は、〇ふるさと納税8億円（総額23億1千円）
〇基金からの繰入金4億6173万3千円など。
歳出は、〇ふるさと納税

ら、15年間の方針に基づいて各政策が実施されていまずので全体的な内容の変更はありませんが、5年間の期間の延長に伴い整合を図る必要のある部分を変更したものです。この5年間の延長によって合併特例債15億円程度の利用が可能になります。

【審議結果】

出席議員18名
可決《賛成16 反対1》
議長は除く

《物品購入に関する議会議決》

田川市郡統一・学習用タブレット端末購入を可決！

教育環境整備に関する田川市郡相互の連携に関する協定に基づき、随意契約による統一した「学習用タブレット端末」を児童生徒数＋教員数＋予備機Ⅱ合計2370台の購入を可決しました。

契約内容は次のとおり。

【物品の名称】

学習用タブレット端末
（2370台分）

契約金額

1億956万3300円
（うち消費税996万300円）

業者名

ミカサ商事株式会社
代表取締役 中西日出喜
住所 大阪市中央区島町2丁目4番12号

【審議結果】

出席議員18名
可決《賛成17 反対0》
議長は除く

《町職員の給与に関する条例改正》

期末手当・年間0.05カ月分削減条例を承認！

人事院勧告により、国家公務員一般職職員の給与に関する法律の改正により、福智町の一般職職員の期末手当を国に準じて、年間0.05カ月分削減する条例を可決しました。

【審議結果】

出席議員18名
可決《賛成14 反対3》
議長は除く



▲嶋野友之 氏

《教育委員会教育委員の選任》
福智町教育委員に嶋野友之氏を任命！

教育委員・長川文氏が、令和2年12月5日をもって任期満了となったため、後任として、嶋野友之氏「福智町伊方」が、議会の同意を得て任命されました。なお、任期は令和2年12月16日から令和6年12月15日までとなっています。

【審議結果】

出席議員 18名
可決 賛成16
反対1
議長は除く



▲議案審議中の議員と執行部

令和2年第4回定例会出欠表

日 程	属	田 寄	石 谷	橋 本	小 松	尾 崎	木 戸	沼 口	朝 部	高 津	堀 江	楠 木	日 比 生	木 村	原 田	皆 川	浦 田	矢 野
12月 4 日 本会議第1日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月14日 本会議第2日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月16日 本会議第3日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は出席 ●は欠席



歳出は、〇新型コロナウイルス対策交付事業費として、町民一人に対し、1万円の特別給付金2億2400万円（令和3年1月1日現在、町内在住者に3月19日以降給付予定）〇学童保育委託料838万9千円など追加補正予算（第10号）1億1675万3千円が可決されました。今回の追加補正により歳入歳出総額は、それぞれ218億9042万4千円となっています。

【審議結果】

出席議員17名
可決《賛成14 反対2》
議長は除く

常任委員会報告

各常任委員会で審議した主な質疑
応答・意見などをご紹介します。

総務文教常任委員会報告

委員長 木戸 勝正 **副委員長** 石谷 光信 **議長** 矢野 博文
委員 朝部 壽・楠木 静則・木村 幸治・浦田 光由
所管課 総務課 / 出納室 / 防災管理・管財課 / まちづくり総合政策課 / 税務課 / 学校教育課 / 生涯学習課 / 支所 / 議会事務局

主な質疑

令和2年度福智町一般会計補正予算

質疑 コンビニ交付システムの利用状況について尋ねる。

答弁 実質件数についてはあまり伸びがなく、件数の把握はしていない。

質疑 2万2千円の減額について当初の予算等を尋ねる。

答弁 当初予算は71万3千円。決算額が69万1千円で2万2千円の不用額である。

質疑 育英資金貸与及び給付型奨学金委員報酬の減額について尋ねる。

答弁 年2回の委員会を計画していたが、今年度については対象者の人数が少なかったため1回のみの開催であった。

その他の案件

質疑 福智町コロナ感染について尋ねる。金田・赤池方面の福祉課関連施設2カ所で感染者がでいると聞いているが事実なのか。福祉課に連絡が入っているのか。

答弁 コロナの感染状況等については総務課と保健課が管轄しているが、町内の感染状況については、

福岡県は田川郡としか発表していないので町内どれくらいという形では報告できない。

また、個別の案件についても、この場では回答できないが、福祉課が管轄している施設等についてはすべて把握している。

連絡があったかどうかについても個人情報に関わるので、回答することはできないが、例えば、施設等で感染が起きた場合は福祉課も管轄の行政機関として一緒に色々協議するので、特別な病気ということだが、こちらもいろいろ差別事象等も実際に情報入手しているので、細心の注意を払いながら対応をしている。

質疑 特別な病気の方なので対策をしているかどうか。個人情報も大事だけど細心の注意を払えばならぬと思うがどうか。

答弁 個人情報等、行政として明確に発言できないことの理解をいただきたい。それに対する対処法についての今、指摘のあった点については不足している部分と感じているので、検討し、連絡事項についても打合せしてい



▲(審議風景) 厚生常任委員会



▲(審議風景) 総務文教常任委員会

審査結果

当委員会に付託された議案を慎重に審議した結果、すべて可決しました。

く。感染予防についても、例えば陽性者が出た場合は日本全国各地でも同じであり、保健所の方がきちんと使用した衣類やシーツについても消毒方法等指導している。

主な質疑

福智町放課後児童健全育成施設設置条例改正

質疑 学童クラブ室設置条例の適用日をどういう形で遡っているのか。

答弁 実際に子どもたちが引越したのは12月1日だが、11月1日に工事が完了しているため。

質疑 学童クラブ室の設置については計画の段階で設置位置が決まっているはず。適用年月日を11月1日にするのであれば、9月議会に上程すべき事案ではないのか。また、当委員会で審議するのであれば、議決後の適用になるのではないか。実際に適用日を11月1日に遡るのであれば、事後承諾になる。

答弁 文言を改める条例については遡つての適用は当然あるとは思いますが、建物が完成したのちの適用については、事前に委員会報告等を含めて検討していく。

令和2年度福智町一般会計補正予算

質疑 今回の補正についてはふるさと納税が主だと思うが、ふるさと納税の収入を何に、どこに使ったのか発表する場所はあるのか。

答弁 福智町広報紙の中で使途については周知している。

質疑 建物及び事業費に充てた詳細は出ていないのか。

答弁 個別の使途目的については公表していない。

質疑 返礼品目的とする方以外に、寄付をしてくれた方に対し具体的に何に使用したかを知ってもらうことが必要ではないか。

答弁 納税者への通知には使途を明記している。

令和2年度福智町国民健康保険特別会計補正予算

質疑 葬祭費は自治体が負担するのか。

答弁 国民健康保険被保険者が亡くなったときに、喪主の方に対し葬祭費3万円が支給される。

質疑 保険事業費の備品購入費減額については、何か購入する予定があったのか。

答弁 コスモス保健センター内レストランの厨房機器購入のため計上していたが、今年5月のレストラン廃止に伴い減額した。

令和2年度福智町国民健康保険福智町立診療所事業特別会計補正予算

質疑 公用車車検整備費が減額になっているが、診療所には公用車が

あるのか。どのようなことに使用するのか。

答弁 当初2台使用していたが、1台になったため、1台分の車検費用の減額である。医師の患者の訪問診療と訪問リハビリ、事務職がレセプトを医師会に持つていく際等に使用している。

質疑 診療所検査費について、コロナの検査はコスモス診療所で行っているのか。

答弁 コスモスと方城診療所の2カ所で行っている。保険診療の場合、検査費は県の負担であり、自己負担はない。

その他の案件

質疑 金田義務教育学校の正門の前、短い距離だが急坂になっているため、児童がこけてけがをしたとの声を聞いた。建設上の問題はなかったのか。

答弁 教育委員会にその情報がないため、けがの状況について学校へ確認をする。工事については問題なく施工を終えている。確認後再度報告して対処する。

審査結果

当委員会に付託された議案を慎重に審議した結果、すべて可決しました。

厚生常任委員会報告

委員長 堀江 政洋 **副委員長** 尾崎さつき
委員 属 紀三嗣・田寄 みゆり・小松 繁信・矢野 博文
所管課 住民課 / 福祉課 / 人権・同和対策課 / 保健課 / 診療所

産業建設常任委員会報告

委員長 橋本 騰馬 副委員長 沼口 富生 議長 矢野 博文
委員 高津 鶴己・日比生 洋一・原田 幸美・皆川 高司
所管課 建設課 / 農政課 / 住宅課

主な質疑

令和2年度福智町一般会計補正予算

質疑

農林水産業費・林業費・林業振興費
森林所有者意向調査実施業務委託はどういった内容でどこに委託するのか尋ねる。

答弁

森林所有者に対し、経営管理の現状、経営管理の見通し等、集積計画対象森林について経営管理の意向に関する調査を行うもの。委託業者はパスコである。

質疑

国として新しい施策や補助事業を考えているのか。

答弁

新制度では、森林所有者が適切な森林管理をできない場合に市町村が森林管理の委託を受ける。林業経営に適した森林については、意欲と能力のある林業経営者に再委託を行い、自然条件など林業経営に適さない森林については、市町村において間伐など管理を行う。福智町内には、再委託可能な林業経営体がないため、飯塚農林事務所など関係機関と協議を行い、新制度対応を行っていく。

その他の案件

質疑

物品売買契約の締結について田川市郡相互の連携に関する協定

答弁

で田川市が代表して業者選定、契約金額を決定したということだが、何社が応募したのか。その中からミカサ商事を選定した理由を尋ねる。

質疑

応募した4社によりプロポーサル方式の入札を実施し、機能・サポートの体制など総合的に判断して業者を選定した。

質疑

学習用タブレット端末は田川市郡統一したとのことだが、どこかのメーカーを選定したのか。選定理由を尋ねる。

答弁

メーカーはAcer（エイサー）、機能・サポートの体制など総合的に判断して選定した。

質疑

生徒に貸与するタブレット端末を家庭学習にも資するため、家庭への持ち帰りを認めるのか。

答弁

持ち帰りについては、現時点は認めていない。今後、臨時休校や家庭学習に備え検討する。

質疑

令和2年度国勢調査について、国勢調査用紙を配布し回収が滞っているという新聞報道が頭に残っているが、福智町では全世帯回収、若しくは郵送済なのか。回収漏れはないのか。施設入所している一人世帯の方はどうしたのか。

答弁

福智町の国勢調査で調査員の訪問及び調査票を配布した世帯については近隣聴取を含め全件の回答を確認している。施設入所者については施設の職員を調査員に任命し、規模によっては施設の回答協力もあり、漏れがないものと認識している。

質疑

国勢調査の結果の公表はいつになるのか。

答弁

結果の公表スケジュールは令和3年6月に速報値の発表が予定され、令和3年11月に基本集計結果が公表される予定。詳細な結果については令和4年12月までに随時公表される。

審査結果

当委員会に付託された議案を慎重に審議した結果、すべて可決しました。



▲審議風景

一般質問

(令和2年第4回定例会)

議員8人が町政を問う

一般質問は、町の行政全般にわたって、町長や教育長などに、方針や説明を求めるものです。

議会だよりでは、質問と答弁を要約しています。
本議会での傍聴をお待ちしています。

質問者	質問事項	ページ
田寄みゆり	町の発熱外来について 学校給食会の役割及び食品の安全確保について 就学援助制度と入学準備金について	8
高津 鶴己	成人式について 教員の働き方改革について 放課後児童育成施設(学童クラブ室)について 方城支所等の活用策について	9
属 紀三嗣	福智町の財政状況について 定住人口増加について	10
木村 幸治	消防団について 農業振興について 金田義務教育学校について	11
朝部 壽	情報公開(要望書)について 義務教育学校について	12
木戸 勝正	農政課の業務内容について まちづくり総合政策課の業務内容について 住宅課業務内容について 総務課の業務内容について	13
石谷 光信	ふるさと納税について 福智町の活性化について 新型コロナ対策について	14
尾崎さつき	発熱外来設置について 少子化対策について 町で実施している健康診断について	15

※各議員が質問した事項の中から抜粋して掲載しています。

議会を傍聴しませんか!!

本庁舎4階の傍聴席入り口で、住所、氏名等を受付票にご記入いただき、受付箱に投函のうえ議場傍聴席にお入りください。詳細は、議会事務局までお問い合わせください。(☎0947-22-7772)

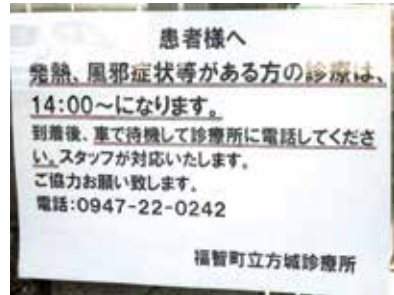


田崎みゆり議員

発熱外来どうなった？ 町民に知らせて！

問 9月議会で、冬に向かつてのコロナとインフルエンザ対策として、田川市郡全体で発熱外来を作れないかと質問したが、町長は福智町の診療所で発熱外来を作って対応すると返答した。10月から2つの診療所で時間を決めて、発熱外来を開始しているようだが町民への報告が行われていない。なぜ、町民に知らせていないのか、今後もしないつもりなのか。

答 町長 広く知らせると他所からも患者が来て、診療が



▲方城診療所

混乱する。発熱外来は、町民と診療所かかりつけの患者のみ対応したい。これは医師の判断で行っている。

意見 診療所で発熱外来を行うと、混乱することは分かっていたからこそ、町民の安心と職員の安全のために、田川市郡での発熱外来を提案した。町の発熱外来については広報

にも出していない。発熱時にどこに連絡したらよいのかも含めて、詳細を知らない町民にきちんと報告をするべきである。

学校給食会は何するところ？給食の安全をまもってね

問 福岡県内全ての学校に給食食材を提供している学校給食会に、福智町も加入している。①地元直接より給食会を通した方がメリットがあるのか。②アレルギー対策はどう行われているのか。③輸入の小麦粉など食材の安全性は確保されているのか。

答 教育長 教員生徒合わせて2100食を、賄っている。主にパン・牛乳・野菜など8割を給食会から購入。給食会を通すことにより、安定して食材を仕入れることができ、大量購入により価格が下がる。給食センターではアレルギー食専用の調理室で対策している。安全

については、給食会の検査室で細かなチェックが行われ、各学校に報告がある。

問 安全性について、検査内容を保護者や町民がチェックできる仕組みがほしい。

答 教育長 ホームページで知らせる。



▲特産品で美味しく楽しい給食を（平成29年度学校給食料理コンクール入賞作品）

問 コロナの影響で貧困世帯が増えている。4月以降の申請数の変化はあったか。

答 教育長 1130所帯のうち、援助を受けている割合は昨年33%だったが、今年

コロナ禍の中、就学援助対象者の拡大を

は45%になった。

問 就学援助基準は生活保護費を基準とした倍率で決められるが、福智町は生活保護の何倍か。

答 教育長 算定基準は1.1倍。援助基準も、入学準備金も、田川市郡で最低の額だ。就学援助制度を良くすることで、子育て世代を応援できないのか。

答 町長 周辺自治体より支給額は低いが、申請者が多いので財政が厳しくなっており、引き上げは考えていない。



▲新聞で切り絵（自作）

成人式について

問 1月10日実施予定の成人式について感染症予防対策を十分に行うこと、そして感染拡大が続き中止若しくは延期の場合の判断は早めに行うべきだ。

答 教育長

360名収容の地域交流センターで今まで160名程度の参加者で密は避けられる。福岡県で12月12日コロナ警報が発令されたのでこれに準じて対策を取っていく。晴れ着等のキャンセル料がかからない時期、横の情報を取りながら判断したい。



高津 鶴己議員

問 民法改正で令和4年4月1日から「年齢18歳をもって成年とする」となっている。令和4年の成人式はどのようにやる予定か。



▲人生の大きな節目を迎えた2021新成人たち（地域交流センター）

教員の働き方改革について

問 教員の働き方改革についていろいろ工夫をしていく必要があると思う。クラブ活動、総合学習等について部外の方、地域の方々の力を借りることを考えるべきだ。部活等で教員以外の部外講師に委嘱している数は。

答 教育長 部外の指導員は7人、全体の3割程度、放課後授業とか道徳教育等合計19人に依頼している。

答 教育長 成人式という言葉は変わるが「20歳（はたちの集い）」という形でやろうと考えている。18歳は受験の真只中で、20歳になって行うのがいいと田川郡課長会で話し合われている。

意見 町民そして18・19・20歳の方々は非常に興味を持っているので十分に周知していただきたい。

方城支所等の活用策について

問 9月定例会でコスモス診療所を民間に譲渡すると町長が表明され、プロポーザル方式で医療機関を選定することだが、福智町の条件を示す必要があると思う。公募条件は固めたのか。

答 町長 方城診療所は小児科、内科、整形外科とし、コスモスはそれとかぶらない診療科、例えば24時間体制の訪問診療、高齢者医療に特化した医療機関を期待

問 学校運営協議会などで地域のボランティア、学校に協力・支援してくださる方を探し出していくことが必要だと思うが。

答 教育長 教師の働き方改革では働ける時間は限られており、地域の方の力も借りなければならぬ。令和4年度までに学校運営協議会をすべて立ち上げたい。

している。

問 広く募集して複数の方が手を挙げていただいて、一番いい提案を選ぶことが必要だと私は思う。早く条件を固めて広く募集していただきたい。

令和3年度末までに赤池・方城支所を廃止する方針を打ち出しており、とりわけ方城支所の活用策について、

(ア)町の他の組織を持つてくる
(イ)他の公の組織・施設の誘致
(ウ)多くの雇用が見込まれる会社・法人への売却或いは賃貸

(エ)活用方法について広く募集し、応募者の中から選定する
といった方法があるのかと思う。三役での検討状況、方向性は固まっているのか。

答 町長 今現在、組織・施設の統廃合を考えており、はっきりした形で回答できるようにすればお答えさせていただきます。



属 紀三嗣議員

福智町の財政状況について

問 広報紙では黒字とあるが、基金は減り地方債は増えている。昨年度決算と今年度を鑑み、財政状況の認識を問う。

答 町長 合併時に比べ財政状況は、非常に厳しい。福智町は、159億円が理想的予算額であるが、補正後予算は約205億円である。単独経費の縮減、補助金事業は補助率の低い事業の見直し、加えて施設の統廃合、民営化を強く推進する必要がある。

問 行財政改革の必要はあるのか。どのような改革を行うのか町長の考えを問う。

答 町長 令和元年度から4年間で約20億円削減目標を掲げている。公共施設の統廃合及び人件費、維持経費の縮減を図る。福智町は、20万都市並の施設がある。施設維持管理費は財政を圧迫するが、進んでいない。いち早く縮減に向けた取組を行う。20年後を見据えた上での計画を訴え具体化に向けて進めている。公共施設だけではなく、継続実施のイベントや各種事業も、見直す必要がある。

問 施設の統廃合の際、サービスの低下が懸念される。検討する改革を広く発信し理解を求める必要がある。周知の方法を問う。

答 町長 現在コロナ禍で、地区を回っての説明は行わないが、広報やホームページで発信していく。また、必要に応じて全戸郵送の手続を取る。

問 町立病院統合で方城診療所の改築について、あえて質問項目を設けたが、利用者の利便性や職員の動線や運営等、後のランニングコストを下げる必要があると思うが設計方針を問う。

答 町長 業務を合併するので、診察室等の増築が必要になり、診療所裏の敷地に増築を計画している。また、経営の改善計画を現在策定している。完成次第報告する。

問 前年度決算が出て今年も終盤であるが、来年度予算編成の注力する点を問う。

答 町長 来年度は、国の税収約8兆円減に注目している。税収も下振れし、交付税、消費税等の下振れが予想される。来年度は、令和元年度の決算比の約10%以上の縮減を掲げている。また、義務的経費の医療費や社会保障費は、毎年約1億円増加しており、職員一人一人の日頃からの経費縮減認識が求められる。

定住人口増加について

問 新型コロナウイルスの影響により、イベント等は殆ど中止である。行った事業はあるのかを問う。

答 町長 感染に注意し、「ことと列車」の平日稼働を目的に、スイーツカフェトレインとランチトレインを行った。多数のメディアに

取り上げられ関係人口は増えていると感じている。

問 関係する人口が、定住に至るまでの施策を問う。

答 町長 定住の形を取ると、魅力あるまちづくり、この1点に尽きる。魅力がない町に定住はしない。また、地域ブランド化による魅力の磨き上げや定住支援、企業誘致の施策を定期的に積み重ねる事が定住人口の増加に繋がる。10月末現在、転出346名、転入365名と、若干上回っている。魅力あるまちづくりの施策が、新しい町民の意識の中にあると感じている。



▲福智産の和菓をしばりたてて提供した絶品モンブラン

消防団の活動状況

問 各消防団の人員、消防車の台数、出動回数、活動状況を尋ねる。



木村 幸治議員

答 防災管理・管財課長 消防団は本部分団から14分団まで計15分団。定員は定数390人に対して実数365人。消防車は16台。出動状況は、火災による出動が18件で延べ人数574人、警戒による出動が15件で1127人、訓練が28件で1855人。合計61件で3556人。

問 火災発生時、消防署から消防団への連絡はどのように行われるのか。

答 防災管理・管財課長 田川地区消防本部指令室から福智町防災管理・管財課に設置されている直通回線電話で火災の一報を受ける。同時に、消防団長、副団長、火災発生地区の各分団長へ田川地区消防本部より個人所有の携帯電話へ自動音声で順次指令が行われる。

問 消防団員が300人以上いても、日中出動できない団員が多いことが予想される。消防車が出動する際に、団員が何名以上集まらないと出動できないという決まりがあるのか。

答 町長 合併当初、旧金田町に女性消防隊が12人在籍していたが、新規入隊者がおらず、平成23年3月末を

答 防災管理・管財課長 自営業の方や役場職員、本部団員を合わせると、123人が日中出動できる。消防車で出動する場合の人数規制はないが、消防ポンプ自動車を利用し放水で消火活動を行うには5人必要である。

問 消防団員の定年年齢や福利厚生はどうなっているのか。

答 町長 定年年齢は68歳。福利厚生は、消防団員等の福祉共済に加入しており、公務や公務外で死亡、重度障害、障害、入院となった場合には共済金が支払われる。手当等については、階級に応じた年報酬と、1回の出動に対して2千円の費用弁償を支給している。

問 女性消防隊はいるのか。

答 町長 合併当初、旧金田町に女性消防隊が12人在籍していたが、新規入隊者がおらず、平成23年3月末を



▲福智町本部分団

農業振興

問 スマート農業とはどのようなものか。

答 農政課長 先進的な水田農業機械導入で、収集、分析、品質の向上を行うことに対して助成する事業である。農

問 火災では初期消火が重要だが、消防団がすぐに集まらない場合近所の人に応援にかけつけて活動することはできないのか。

答 町長 もしケガをした場合の補償の問題がある。現在は補償がないため、それを理解した上で対応してほしい。

問 農道を指定し、一般車両の通行を規制できないのか。

答 町長 一般車両に対し農道での交通規制をすることはできない。しかし、注意喚起のため「ここは農道ですの一般車両の通行はお控えください」等と書いた掲示板の設置をしないといけないのではないかと思う。

金田義務教育学校

問 工事の進捗状況を尋ねる。

答 教育長 敷地内は全て完成済。堤防の嵩上げ、道路等の周辺工事が残っている。



朝部 壽議員

情報公開について

問 情報公開要望書を総務課に提出したが、なかなか文書を出さなかったのはなぜか。

答 町長 要望書の文書作成が時間を要し、遅れたことは申し訳なく思う。

問 公開文書は、当然提出できない部分もあるかと思うが、各行政区からの要望書についても、役員会議等で報告ができるように、いち早くスピード感をもって回答書の提出をして頂きたい。

両診療所統廃合について

問 統廃合は、行財政改革大綱の答申を受け決定したが、何故コスモス診療所を民間移譲し、方城診療所を残す事になったのか。

答 町長 最終的に決断に至った過程は、施設管理費等の経費を比較し決定した。

問 せめて、赤池行政区の町民に対し、住民説明会を開催する予定はあるのか。また、行政主導ではなく、町民の意見を反映させるべきではないか。

答 町長 住民説明会については、今後考える。

義務教育学校について

問 開校の5ヶ月遅れの原因は、梅雨の長さや、今回のコロナウィルスの事もあるが、一番の原因は何か。

答 町長 地域住民への地元説明会を10カ所行った事による工事の遅れや、大雨が原因である。

問 土地の購入時に債務があり、その債権を抜くのに問題があったのではないか。また、その債権は、相手方が金融機関で一人のこともあり、議員2名と職員が行くのは問題ではないのか。

答 町長 土地購入に伴い債権者が金融機関であり、職員が業務遂行のため相談に行ったのは事実であるが、議員2名は誰なのか承知していない。

問 その金融機関には、2千万円の債務があり、また一個人の問題に行

政や議員が関わり、最終的に債権を抜いたのは行政ではないのか。

答 町長 行政が払うことはできない。抵当権を設定されている本人が全額納めたのではないか。

問 土地の購入時は、最終的に抜け2千万円の出所はわからないが、5ヶ月開校の遅れは購入事体が最大の原因ではないのか。

答 町長 土地購入をしないと工事が進めず、また現在6年生が卒業前であり、新校舎での卒業を迎えさせたい気持ちもあり、工期を決定させたが、自然・長雨の部分は取り組むことが出来ず、そこで延々に関してはお詫びする。

問 9月議会の質問で学校の備品購入費は、3社で見積入札を行ったが、何を発注したのか。

答 町長 児童や職員の机、椅

子、ロッカー、会議用のテーブル、その他いろいろ購入した。

問 購入費は、3社に非公開での入札で隠し通すつもりなのか。

答 町長 学校教育課長 備品購入については公開していない。※ただし、開示請求をすることが出来ます。

問 そんな答弁して良いのか。また非公開の入札はあり得ない事ではないか。

意見 行政の役割は町民の生命と財産を守ること、運営は公明正大にやっていただきたいと思う。



▲金田義務教育学校

農政課の業務内容

問 活動ある高収益型園芸産地育成事業費補助金、2150万7千円の事業の目的を尋ねる。

答 農政課長 園芸農業の競争力の強化の為、生産条件の整備を進め、収益の高い園芸産地育成を目的とした事業である。

問 事務局はどこか。

答 農政課長 田川農協管内事業で今年度事務担当になっている。実施期間は何年から何年か。

答 農政課長 3年間の実施計画となっている。

問 農業次世代人材投資事業費補助金300万円の事業内容を尋ねる。

答 農政課長 次世代を担う49歳以下の農業者に対し就農準備や経営確立支援をする費用である。

まちづくり総合政策課の業務内容

問 花いっぱい運動について尋ねる。春秋と年2回配布してきたが今年秋から中止した理由を尋ねる。

住宅課の業務内容

問 住宅家賃の滞納状況について、2月・11月の滞納状況を尋ねる。

答 住宅課長 本年2月の滞納者は811名で滞納額は3億2323万3354円。11月の滞納者は727名で、滞納額は3億604万3712円。

問 方城荒迫団地の1件で108万5900円滞納があるが、1円も納入されていないのはなぜか。

答 住宅課長 入居者が平成20年から行方不明で連絡が取れ

ず、保証人も平成12年に死亡している。

問 このように多額な滞納に対してどのような徴収をしているか尋ねる。

答 住宅課長 連絡が取れず徴収できない状況である。

問 努力していただきたい。方城柿の木団地も2件で180万750円あるが、これも同じか。

答 町長 平成30年から住宅の明け渡し請求を行っている。督促、催告、訴訟を行っていることと考えている。



▲町営住宅（湧淵団地）

総務課の業務内容

問 新型コロナウイルスの感染対策対応地方創生臨時交付金の2回の事業案について尋ねる。誰が作っているのか。

答 町長 関係課と町3役で精査を行い執行部と庁議で内容確認した上で議案として上程している。

問 内容は決定しているが、臨時議会を開催して、詳しく内容説明をして検討してもらいたい。

答 町長 臨時議会が必要ならば、開いていこうと思う。



石谷 光信議員

ふるさと納税について

問 ふるさと納税寄付金の使い道、広報には①活力あるまちづくり37・3%②住んでみたくなるまちづくり21・4%③魅力ある人づくり11・1%④町長一任30・2%とあるがどの様に使っているか、又使う予定か。

答 町長 返礼品に関する費用・図書館運営費・町道補修・予防接種・子供の医療・保育所運営委託金・新築奨励金・移住定住サイト保守点検・空き家解体支援等9つの項目で使用。

問 返礼品の米、ホームページでは①無洗米②上野の里米③ほうじょう米・弁天米の順で紹介しているが、福智町地場産を優先するべきだと思う。福智町産と確定できるのは、ほうじょう米・弁天米だけではないか。

答 町長 この順番というのは配慮が効くものと思うので、今後は改める。

福智町の活性化について
問 商工対策。先日新聞の折込み広告に香春町の商工会が『香春町の元気な企業PR動画が出来ま

した』というタイトルでQRコード付きのチラシが入っていた。内容は8つの事業者が其々動画で自社の宣伝をしていた。香春町の商工会で話を聞くと、令和2年度伴走型小規模事業者支援推進事業の助成金を活用し、事業者と計画し田川郡全域に配布したとの事。福智町はどのような計画か。

答 町長 経産省が認定した令和3～8年度迄の5ヶ年計画で経営発達支援計画があり、福智町商工会と連携して推進していく。

問 野菜農業対策。町長が長期計画で実行している事はあるのか。

答 町長 若手の育成に力を注ぐ。早速土づくりの為に年間を通して事業・勉強の為に派遣へ補助する。更に整備を行って、来年度の予算より福智町から2名の若手農業者を育成して行きたい。又基盤整備事業によって大規模な高収益野菜栽培

事業を行いJAを中心とした関係機関と協議しながら販路を決定していく。しいては若手の育成に繋がる。

問 観光及び外部からの集客対策。福智町にはスイーツ大茶会などの催事はあるが、一時的な集客で、恒常的な集客が必要だと思つ。町長はどう思つか。

答 町長 ことごと列車を使ったマイクロリズム事業等は短期的な部分になると思う。福智町、自然のブランド化で福智山麓等豊かな自然という資源がある。連日土曜日曜に福智山登山に来る人200名以上が毎週集まって来るので、この地域に引き留める為、上野地域に宿泊施設や研修施設等再度構築を考えている。

問 添田・大任・糸田・香春に続き、川崎も道の駅を計画して外部からの集客を狙っている。福智町にも交通量の多い田川・直方バイパスがある。今は赤池出身の武田総務大臣も

いるので、国の予算を利用し道の駅をつくる事で福智町の活性化が図れるのではないかと。

答 町長 道の駅は国交省の条件として国道が通っていないと構想は出来ない。しかし大型バイパスの交通量を利用した集客対策で、道の駅的な物をつくれるように国に陳情していく。

問 新型コロナウイルス対策について、全国的に新型コロナウイルスの感染者が増え続けているが、町長の考えと施策は。また情報の共有化はどの様に考えているのか。

答 町長 福智町としても危機感を持っている。情報も掴んでいる。執行部として一元的に取り入れながら共有を図っている。しかしながら、これは個人情報保護という観点から差別につながる様な発表はしたくない。



尾崎さつき議員

少子化対策について

問 どの自治体も頭を痛めているのが少子化対策であり、歯止めが利かないのが現状である。福智町も出生率1・62%で県内19番目。平均2人いない状況で町長はどのような対応を考えているのか尋ねる。

答 町長 この少子化対策はやはり子どもが平均2人ではなく、3人、4人と生まれる環境をつくること、これに尽きると考えている。子どもを産み育てやすくする支援として、第3子以降の保育料の完全無償化と減免

措置を現在実施している中で、広報を通じて手厚くやっている部分をPRしていく。

問 色々と施策を考えてもらっているのは本当にありがたいと感じる。例えば、少子化対策の一環として、出産祝い金を支援するのも1つの対策ではないかと思うが、町長はどのように考えているか尋ねる。

答 町長 実際の出生率の向上にどれだけ効果的であるかを見極めながら検討したい。

町で実施している健康診断について
問 福智町での健康診断は40歳から74歳までの社会保険の扶養者と40歳から74歳までの国民健康保

険加入者が受診対象になっている。39歳以下の方はどのように健康診断を推進しているのか尋ねる。

答 保健課長 39歳以下の健診については、国のガイドラインに基づき、がん検診のみを実施している。40歳から74歳までの国民健康保険加入者には血液検査などの特定健診に受診率の向上を優先課題として取り組んでいる。39歳以下の方については、現在行っていない。

問 30代は子育てと仕事の両立で多忙な中で、自ら病院に電話をして検診を受けるのは難しいと思う。年齢を下げた町の健康診断を実施することを検討してはどうか。

答 町長 39歳以下の方々が健康診断を受診する若者はなかなかいないのが現状である。生活習慣病を含めて予防する事を期待するには、広報紙にビラを入れて推進

健康診断

10年後、20年後には...

脂質異常 高血圧 高血糖

脳卒中 糖尿病合併症 心臓病 慢性腎臓病

意見 川崎町では20歳から基本健診を実施している。早期発見、早期治療につなげるためには、年1回の健診は大切であり、安心して生活することができると思つ。

表紙の紹介

弁城小学校

弁城小学校の子どもたちは、元気がよく、あいさつがとても上手です。学校では、「かしこい子・やさしい子・たくましい子」を目指しています。特徴的な取組として、縦割り活動や米づくり・野菜づくり・パワーアップタイム・漢字タイムなどがあります。パワーアップタイムでは、全校で週3回の7分間走を実施しているのですが、今年は感染症予防のため、3つの縦割りグループで5分間走・サーキットトレーニング・体操を行っています。家庭・地域・学校が協力して、子どもたちの健やかな成長を願って教育活動をしています。

赤いお屋根の
時計台



1年中咲く桜



代表委員会

昨年より広報委員会で福智町にある5つの小学校を訪問して、児童委員会を見学させていただくようになりました。

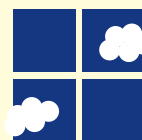
議会事務局、校長先生をはじめ、先生方の協力を得て、どの小学校も子供たちは元気いっぱい、代表委員会では、堂々と意見を発表している子、それを真剣に聞いている子どもたちの姿に、福智町の将来が楽しみになりました。

コロナ禍で生活が変わり、自粛が続く中でも子どもたちは負けずに、自分たちができることを精一杯頑張っています。私はその懸命さに感動しました。

子どもたちに気づかせていただいた「がんばろう」と思える勇氣と希望に感謝の思いでいっぱいです。

「未来の宝」である子どもたちのためにも、1日も早い収束を祈るばかりです。

尾崎 さつき



編集後記